

国土交通省・厚生労働省 同時発表

平成24年2月3日

## 第4回「ものづくり日本大賞」受賞者の決定について

経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省は、第4回「ものづくり日本大賞」について、19件76名（※文部科学省分除く）の内閣総理大臣賞受賞者を決定しました。また、併せて経済産業省では、経済産業大臣賞、特別賞、優秀賞として103件549名の受賞者も決定しました。

なお、表彰式・祝賀会は2月中旬に開催する予定です。

※文部科学省分については、平成24年2月10日（金）に発表予定です。

1. 「ものづくり日本大賞」について

「ものづくり日本大賞」は 製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年開催しており、今回で4回目を迎えます。

第4回「ものづくり日本大賞」は当初、平成23年夏に決定予定でしたが、東日本大震災の影響を受け、スケジュールが遅延していました。このたび、関係4省において、19件76名（※文部科学省除く）の内閣総理大臣賞受賞者を決定しました。また経済産業省では、上記の内閣総理大臣賞に加えて、14件90名の経済産業大臣賞、19件137名の特別賞、70件322名の優秀賞の受賞者をそれぞれ決定しました。

2. 主な受賞案件（内閣総理大臣賞のうち経済産業省関係7件のみ記載）

『劣質製鉄ダストを原料として鉄鋼生産を行うリサイクルプロセスの開発』

『電子部品を内蔵した基板を1回のプレスで完結させる製造プロセスの開発』

『世界の常識を覆した「プロテオグリカン※」製造方法の開発』

※プロテオグリカン：生物組織の中に存在する、生体活動をコントロールする成分。

『大型液晶パネル量産を可能としたマルチレンズ・アレー方式露光装置の開発』

『レアメタルを画期的に削減した次世代ステンレスの開発』

『超極細生糸を使用した世界一薄い絹織物の開発』

『有田焼の伝統技術を応用した高輝度発光蓄光による製品開発』

※受賞内容の詳細、その他受賞案件については別添資料をご覧ください。

### 3. 今後の予定

今後、2月中旬には各省合同で、内閣総理大臣賞の表彰式・祝賀会を開催します。また同時期に、経済産業省では経済産業大臣賞および特別賞の表彰式・祝賀会を、経済産業地方局では優秀賞等の表彰式を開催します。

さらに3月20日（火・祝日）から、国立科学博物館（東京都台東区）において、今回の経済産業省関係受賞案件を紹介する「ものづくり展」を開催する予定です。



内閣総理大臣表彰

## ものづくり日本大賞



【「ものづくり日本大賞」ロゴマーク】      【記念メダル（内閣総理大臣賞）】

（本発表資料のお問い合わせ先）

経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長 田中 哲也

担当者： 曾根、吉川

電話：03-3501-1511（内線 3641）

03-3501-1689（直通）

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課

担当者： 須田、柴田

電話：03-5253-8111（内線 24814）

03-5253-8281（直通）

厚生労働省職業能力開発局能力評価課

担当者： 松田、幸野

電話：03-5253-1111（内線 5968）

03-3502-6958（直通）

（文部科学省）文化庁長官官房政策課

担当者： 山下、木村、増田

電話：03-5253-4111（内線 2806）

03-6734-2806（直通）